



# 園だより

平成 31 年 3 月発行



合志こども園 園長 松岡 貴子

## 卒園・進級おめでとうございます

いよいよ、1年刊のまとめの時期を迎えました。心身ともにひとまわり大きくなったお子様の成長した姿は、4月を思い出すと見違えるほどだと思えます。保護者の方を追いかけては、涙していた小さな姿は、園での生活を重ねるたびに少しずつしっかりしたものとなり、今では「大丈夫！自分でできるよ」と笑顔で返してくれます。成長を喜ぶとともに、巣立ちの淋しさも感じています。それぞれのクラスで一緒に頑張ってくることが出来、職員一同感慨深い思いです。また、子ども達が安心して過ごせたのも、保護者の皆様の温かい応援のお陰です。心より感謝いたします。今後もお子様の成長を見守らせて頂き、新しい世界・新しい環境での活躍を応援しています。

本当にありがとうございました。そして、今後ともよろしくお願い致します。



3月21日春分の日、福岡に「桜の開花宣言」がでました。テレビでは5輪ほどの桜を見上げては、写真に収めている方の映像が流れていました。

こども園に咲く花も満開の時期を迎え始め、花の世話をしていると「なにしてるの？」と2歳児さんがよく声を掛けてくれます。この1年クラスで、花や野菜を育ててきたことで、世話をすることに興味がわいてきたようです。幼児期は、経験することが何より大切【体験の重視】であり、「五感で楽しむ」基礎だと思えます。幼児期だからこそ五感が研ぎ澄まされているのだな、と子ども達との関わりの中で感じます。

小さなことに心躍らせ「枯れているのは取った方がいいんだ」「僕たちの花はきれいだよ」等会話が弾みます。【興味関心の芽生え】【自己充実感】小さいときに感じた感動は、次の意欲へと繋がり、探求心も芽生えてきます。その感動を共有することがさらに、心へ深く刻まれるきっかけとなります。【感動の共有】是非、小さな感動を子ども達と共に味わっていく時間を、幼児期にたくさん持って頂きたいと思えます。

日々成長していく子ども達もあっという間に大きくなって、親元を巣立っていきます。特別なことをするのではなく、日々の会話や読み聞かせ・ふれあい遊び等目と目、肌と肌、心と心が揺れることを、今よりちょっと増やしてみませんか？きっと心温まる発見がたくさんあると思えます。

今年度も、一人一人に向き合い【いいところを認め合う】【行動の意味を考える】【やりかたを自分なりに見つけやってみる】を基本に取り組んできました。まだまだ努力するところはありますが、今後も年齢に合った教育・保育に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力よろしくお願い致します。

平成から新元号に代わる新年度。色々な変化に対応しながら、子ども達の笑顔が輝く毎日を送っていきたいと思えます。

# ほけんだより



3月に入り、「腹痛・嘔吐・下痢・発熱」の症状の子ども達が増えています。特にウイルスによる胃腸炎は急に体調が変化するようです。昼食まで元気だったのに、急に「おなかが痛い」と訴え・・・胃腸炎に罹患してしまう傾向が見られます。現在、ロタウイルス感染症が少し流行り出しています。いつもと違うときは、自己判断せず必ず受診してしていただき、重症化しないようにしましょう。

ロタウイルスについてお知らせします。

ロタウイルスは、冬から春まで流行する胃腸炎の代表格です。

- 3～10日程度続く下痢
- 1～3日見られる嘔吐
- 39℃以上の高熱
- 腹痛
- 時に咳や鼻水のような風邪のような症状
- 白い便（白色便）…下痢の回数が多いと便に色をつけることができないために起こる現象

ロタウイルスの感染力は、下痢の始まる2日前から10日後まではありますので、一度、流行するとなかなか治まるまでに時間がかかってしまいます。

園などで流行すると、感染が蔓延するのを防ぐのは難しいと言われています。そのためにも、自己判断だけはしないようにしましょう。

感染から発病までの潜伏期間は1～3日です。

※家族で罹患者がいたあと、兄弟で下痢等の症状があった場合は、受診時「家庭内罹患者がいた」と医療機関に伝えてください。また、水下痢が一日で収まったとしても、普通便になるまで登園を見合わせて頂くと拡大予防に繋がります。ご協力の声掛けをすることもあります。

※園での嘔吐処理対応は、ウイルス飛沫予防処置として、次亜塩素水（ハード2）を嘔吐場所にスプレーし、新聞で覆い近づかないようにします。下痢の場合も処理時、飛沫拡大を最大限抑えることができるように、汚れ物を洗う場所や密閉、次亜塩素水散布等にも気掛けています。



びょうきにまけない  
からだづくりにとりくみましょう

※そとでげんき  
にあそぼう



※がまんしないで  
つたえましょう

はやね・はやおき・あさごはん